

館山市の 台所事情

～ 平成25年度 決算版 ～

「館山市の財政は、どうなっているの？」

「厳しい！って聞くけど大丈夫！？」

市民の皆さまの疑問に答えるため、日々のくらしに深くかかわる市の財政状況を、家計に例えて、できるだけ分かり易く説明します。



市民の皆さまへ

この『館山市の台所事情』は、平成20年度決算から、多くの市民の方々に「館山市の財政状況」や「税金の使われ方」について理解を深めてもらいたいという思いから作成し、おかげさまで、多くの方々にお読みいただき、普段なじみの薄い市の財政について、ご理解をいただけてきたと思っています。

今年度、市では市政運営の基本指針となる「新総合計画」の策定作業を進めており、今後のまちづくりの目標、新たな市の将来像を描くためにも、市民の皆さまとの対話を重ね、市政の情報を共有することが何よりも大切なことだと思っています。

皆さまと、館山の将来のことを共に考えるため、この『館山市の台所事情』がその一助となればと思います。

平成26年9月

館山市長 金丸 謙一



決算の仕組み、会計の種類や決算額	3 P～
歳入・歳出決算額について	6 P～
決算を家計に例えると	14 P～
市の借金・貯金、各種財政指標	17 P～
行財政改革の取組みについて	23 P～
平成25年度に実施した主な事業と決算額	26 P～

1 決算とは？ どのような意味があるの？

基礎知識編

❓ 決算とは何ですか？

- ④ 市に1年間（4月～3月）に入ってきた収入と、その収入を何のために使ったのか（支出）の実績を、市議会・市民の皆さまに明らかにすることが決算です。



決算は例年6月～7月にかけて取りまとめを行い、例年9月の議会にて審議されます。



関連用語

▼ 予算

決算の対義語は予算です。予算とは、1年間の収入を見積もり、どのような事業にどれくらい使う予定（行政サービスの内容）であるのかを示した計画のことです。

❓ 決算から、どんなことを読み取ればいいの？

- ④ 決算は、行政サービスの実施結果であり、市民の皆さんが実際の生活体験から得た行政サービスについて、金額として公表されたものです。

よって、決算内容に対する市民皆さんの率直な意見が、行政サービスをより一層効率的・民主的なものに変え、今後の市民福祉の向上につながると考えています。



また、決算では、

- 年間収支の結果（収入総額－支出総額）
- 借金や貯金額の状況

などを元に、他の市町村との比較・分析を行い、市の財政状態がどのようになっているのかが分かります。

※ 次頁以降で説明していきますので、最後まで、ご覧になって下さい。



2 市の会計種類と決算額について

? どんな会計があるの？

- ④ 市の会計は、どの収入がどんなことに使われるのか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、一般会計と特別会計に区分しています。

一般会計

教育、福祉、道路整備など市の基本的な行政サービスを行う会計

特別会計

国民健康保険税や下水道使用料など、特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計

市の特別会計は、このようになっています

▼ 国民健康保険会計

国民健康保険加入者の疾病、負傷、出産などの費用の一部を負担します。加入者の皆さまの国民健康保険税などを財源としています。

▼ 後期高齢者医療会計

後期高齢者医療制度に基づき、保険料の徴収・届出受付などの事務を行っています。保険料の賦課・医療の費用負担などは、千葉県後期高齢者医療広域連合が行っています。

▼ 介護保険会計

介護を必要とする人へ、各種介護サービスを行っています。介護保険料と国・県・市の負担金で運営されています。

▼ 下水道事業会計

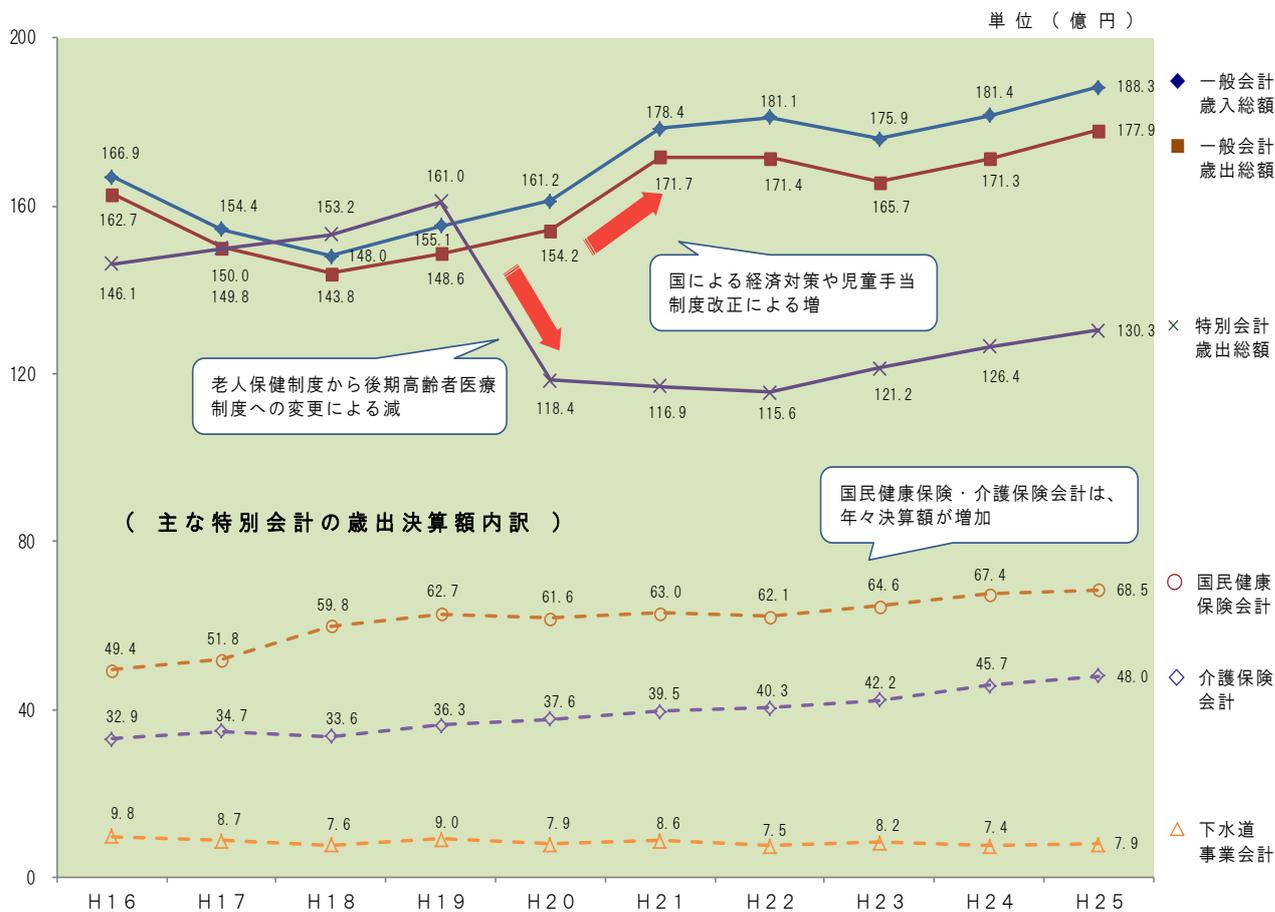
下水道使用料、受益者負担金及び一般会計からの繰入金などを財源とし、鏡ヶ浦クリーンセンターの維持管理、下水管整備などを行っています。

❓ 平成25年度決算額と、これまでの推移は？

㊤ 一般会計と特別会計の決算額は、以下のとおりです。

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計		188億2,856万円	177億8,831万円	10億4,025万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	72億3,499万円	68億5,471万円	3億8,028万円
	後 期 高 齢 者 医 療	5億9,587万円	5億8,430万円	1,157万円
	介 護 保 険	50億1,496万円	48億 217万円	2億1,279万円
	下 水 道 事 業	8億 864万円	7億8,917万円	1,947万円
	小 計（特別会計）	136億5,446万円	130億3,035万円	6億2,411万円
合 計		324億8,302万円	308億1,866万円	16億6,436万円

▼ 一般会計・特別会計の決算額の推移（過去10年間）

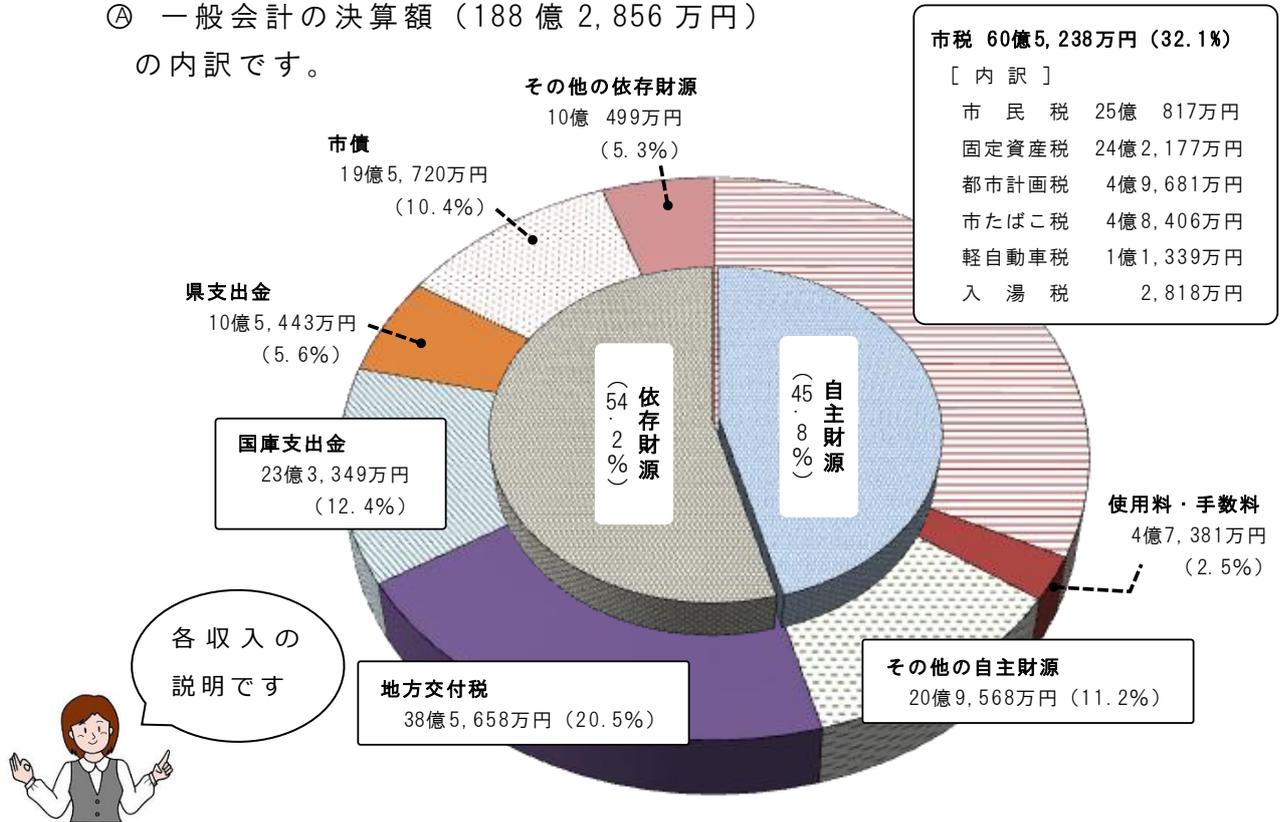


3 収入（歳入）の種類と決算額



❓ 収入の種類と決算額を教えてください？

㊤ 一般会計の決算額（188億2,856万円）の内訳です。



項目	説明	具体例
市税	皆さまから市に納めていただいた税金です。	8ページ参照
使用料 手数料	市の施設利用や証明書類の発行時にいただいているお金です。	公民館使用料 住民票発行手数料 など
その他の 自主財源	特定事業に必要な経費の一部を、負担金として納めていただくお金などです。	保育園の保育料 がん検診徴収金 繰越金 など
地方交付税	全国の地方公共団体が、一定レベルの行政サービスが出来るよう国から交付されるお金です。	
国庫支出金 県支出金	特定事業の経費の一部として、国や千葉県から交付されるお金です。	児童手当負担金 選挙費用委託金 など
市債	公共施設（道路や学校など）の建設や改修をする際に、国や銀行などから借りるお金です。	
その他の 依存財源	皆さまが国や県に納めた税金の一部が、地方に譲与されるお金などです。	地方消費税交付金 地方譲与税 など

❓ 自主財源・依存財源とは？

自主財源

市が自主的に調達できる収入
(市税・使用料・基金取崩し等)

依存財源

国・県から交付される収入や市債など、外的要因に頼るもの

自主財源は、「自治体の財政運営の体力」と言え、比率が高いほど、安定的な財政運営が可能となります。

館山市は、「県内類似団体よりは“体力あり”」と言えますが、県内市全体平均と比較すると、“やや体力不足”の状態です。



参考情報

▼ 各団体の自主財源比率

館山市	… 45.8%
県内市平均	… 53.0%
県内類似団体(※)平均	… 40.8%
南房総市	… 28.1%
鴨川市	… 38.1%

※ 類似団体の説明はP15参照
(館山市はH25決算数値、
館山市以外はH24決算数値)

❓ どうして借金(市債)するの？

理由① 単年度の財源確保

学校改修や公園整備など一度に多額の経費を必要とするとき、借入により、財源(収入)を確保し、他の必要な事業にも取り組むためです。



理由② 世代間負担の公平性

将来にわたり利用される公共施設は、その年の市民が負担するのではなく、将来住む人にも平等に負担してもらうためです。



❓ 市税収入について、詳しく教えてください。

㊤ 市民の皆さまが、直接市に納めていただく税金は、合計7種類あります。詳しい説明は以下のとおりです。

項目	説明	種類
個人市民税	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税金です。	普通税
法人市民税	市内に事業所などを有する会社が、収益などを基準に納める税金です。	普通税
固定資産税	市内に土地・家屋及び償却資産を所有している方が、その固定資産の価格をもとに算定される税額を納めていただく税金です。	普通税
市たばこ税	たばこの製造業者や卸売販売業者などが、市内の小売販売業者に売り渡した「たばこ」に対して課されるものです。皆さまが購入するたばこの代金の中に税金が含まれています。	普通税
軽自動車税	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人に、納めていただく税金です。	普通税
都市計画税	都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・家屋に対してかかる税金です。	目的税
入湯税	鉱泉浴場における入浴に対し課税されます。	目的税

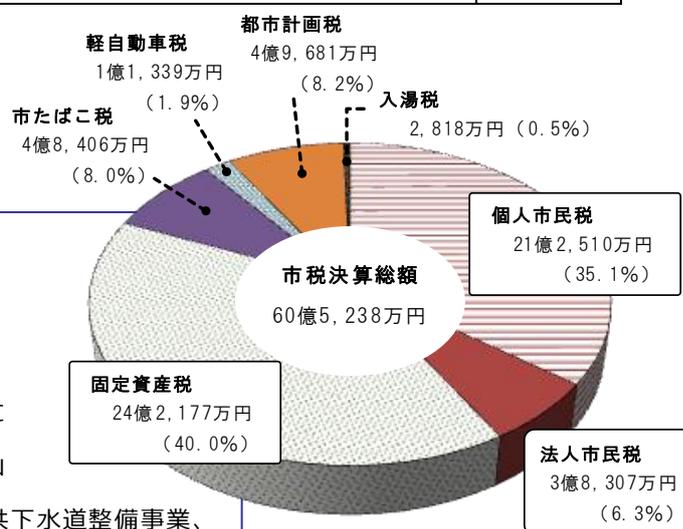


目的税の 使いみち

都市計画税と入湯税は「目的税」といわれ、使いみちが定められている税金です。

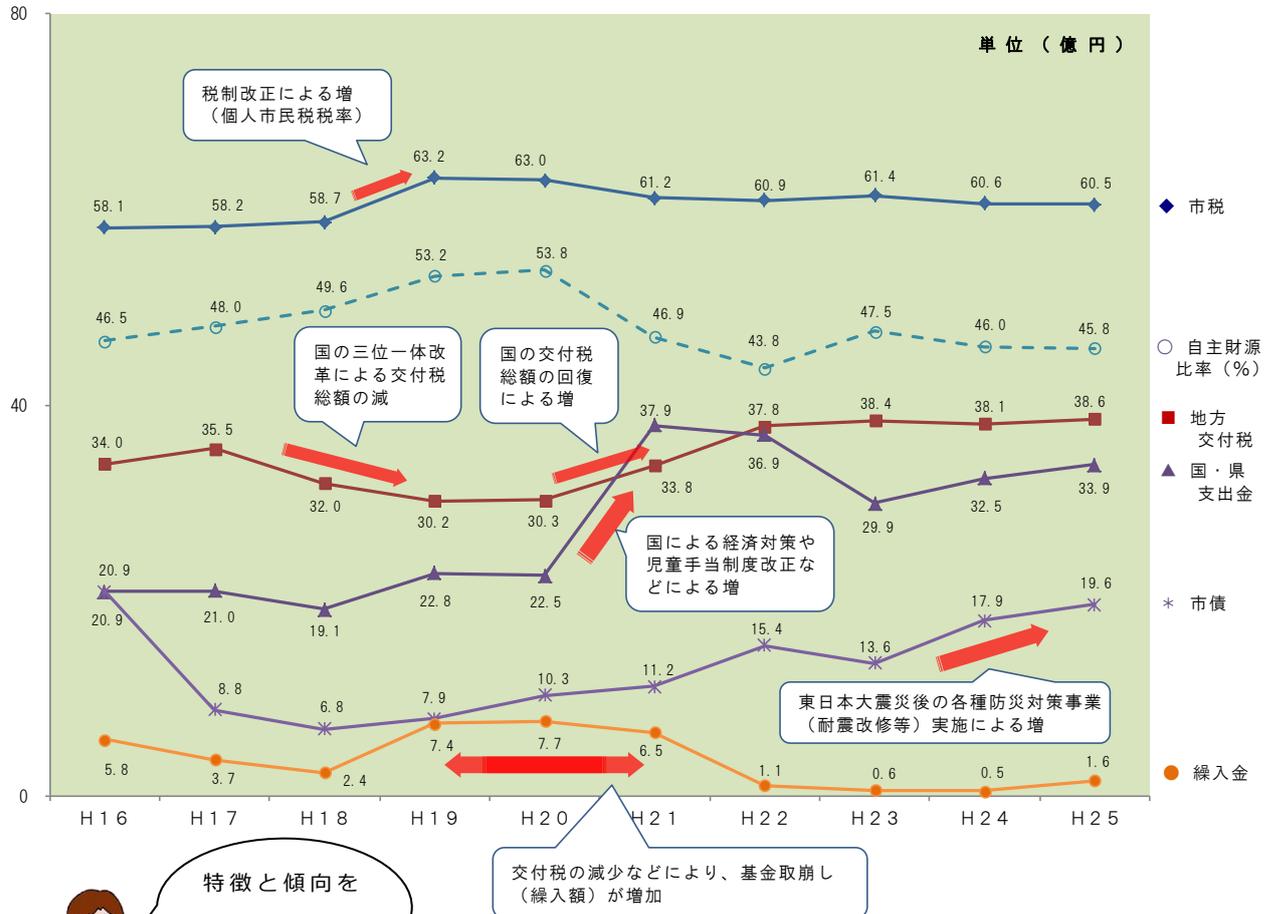
都市計画税は、都市計画事業に要する費用に使うこととされ、平成25年度では、船形館山線道路整備事業（仮称：船形バイパス）や公共下水道整備事業、過去に実施した都市計画事業（市道青柳大賀線など）の市債返済などに充てられました。

入湯税は、観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に使うこととされ、各種観光支援事業や消防車両の購入費用などに充てられました。



❓ 歳入決算額の推移と傾向は？

▼ 歳入決算額の推移（過去10年間）



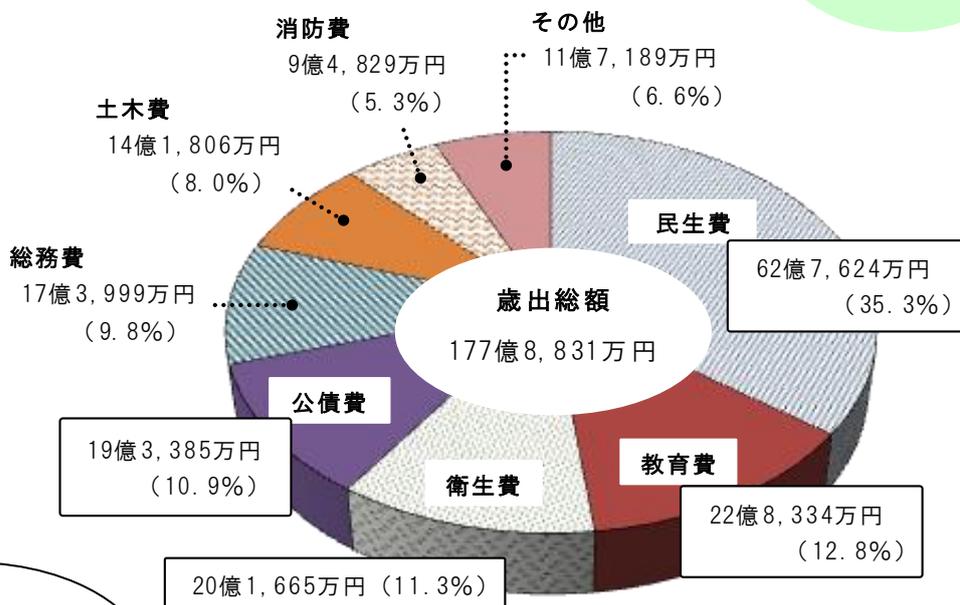
知ってほしい 3つのポイント！！

- ① 市税収入の伸び悩み・・・
全国の地方都市と同じように、高齢化に伴う生産人口の減により減少傾向となっています。
- ② 地方交付税・国県支出金は、国の政策動向により、年度間で大きく変動します！
※ 近年は、国の経済対策や福祉関連経費（生活保護費や障害・介護費用など）の増加により、上昇傾向です。
- ③ 市債は増加傾向！
東日本大震災後の公共施設耐震改修事業（学校等）の推進などにより、近年増加傾向です。
※ 国による財政支援の手厚い市債のため将来の市民負担が少ないものです。

4 支出（歳出）の種類と決算額

歳出編

❓ どんなことに使われたの？



私たちの税金は、こんな目的に使われているのね！



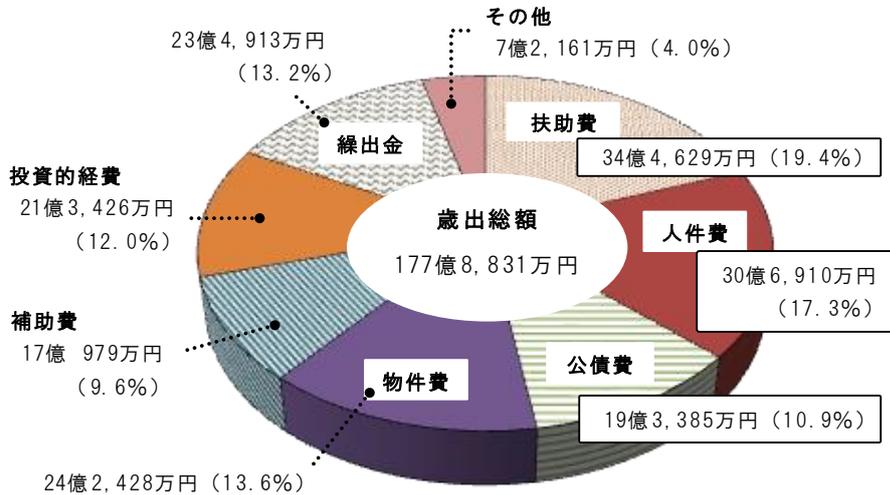
目的名称	具 体 例
民 生 費	福祉の推進のため (生活保護、障害・介護、子育て関連経費など)
教 育 費	教育 (学校整備や給食事業など)、 文化振興 (博物館運営など)、スポーツ振興など
衛 生 費	清掃関連 (ごみ処理経費)、 医療関連 (予防接種など)、下水道整備費用など
公 債 費	市債借入金の返済費用 (元金・利息)
総 務 費	防災関連 (防災行政無線整備など)、 地区コミュニティ費用・その他一般的な事務費用
土 木 費	道路・橋梁・河川整備や 下水道整備費用など
消 防 費	救急救命や消防活動事業など
そ の 他	農水産業・観光業・商工業の振興や 災害関連経費、議会経費など



市職員の人件費は、どのくらいなの？

支出は、前頁で説明した「目的別」のほか、使い方で分類する「性質別」で表すことも出来ます。

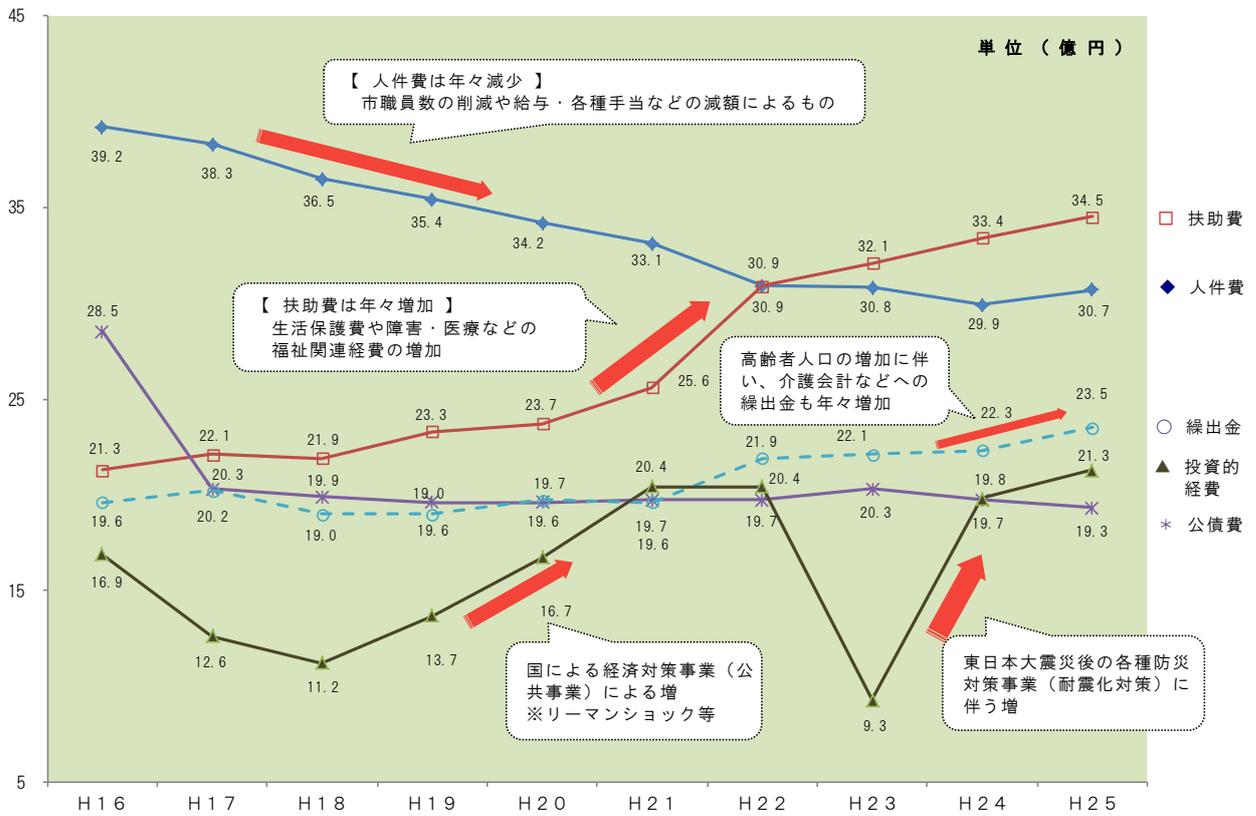
円グラフを見ると人件費には、約31億円使われたことが分かります。



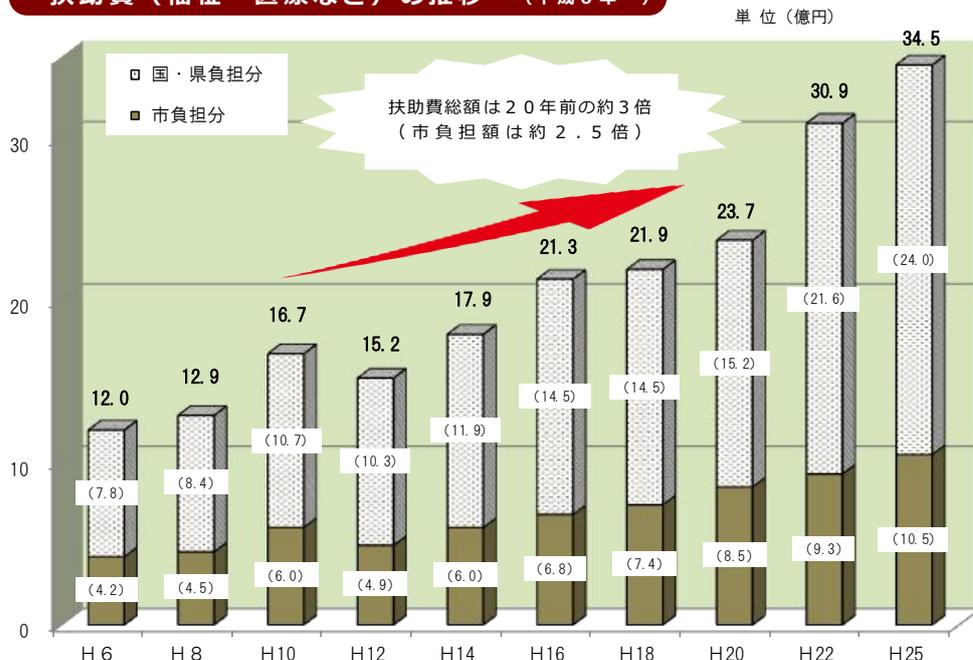
性質名称	説明・具体例
扶 助 費	生活困窮者や障害者、子育てなどの生活をサポートするための費用 (生活保護費、障害者・子ども医療費、児童手当など)
人 件 費	市長や市議会議員、市職員の給料・手当、各種委員や消防団員への報酬などの費用
公 債 費	借金(市債)の返済費用(元金・利息)
物 件 費	光熱水費、事務用機器のリース代、消耗品購入費、業務委託費用など消費的な性質をもつ経費や非常勤職員の賃金など
補 助 費	各種団体活動への補助金(老人クラブ補助・観光団体補助など)や、各種連合組織への負担金(安房郡市広域市町村圏事務組合負担金)などの費用
投資的経費	道路・学校などの公共施設の改修費用や施設の災害復旧費用など、将来も資産と なって残るものに対する支出
繰 出 金	特別会計(国保・介護など)の運営を補うため、一般会計から支出する経費
そ の 他	施設の維持補修費や他団体への貸付金・出資金など

❓ 歳出決算額の推移と傾向は？

▼ 歳出決算額の推移（過去10年間）



扶助費（福祉・医療など）の推移（平成6年～）



なぜこんなにも増えたのでしょうか？
次頁で分析してみました。



扶助費増加の主な理由

- 65歳以上（人口・割合）
- 児童手当（支給額・対象者）
- 子ども医療費（助成内容）
- 障害者医療給付（対象者・決算額）
- 生活保護（世帯数・決算額）



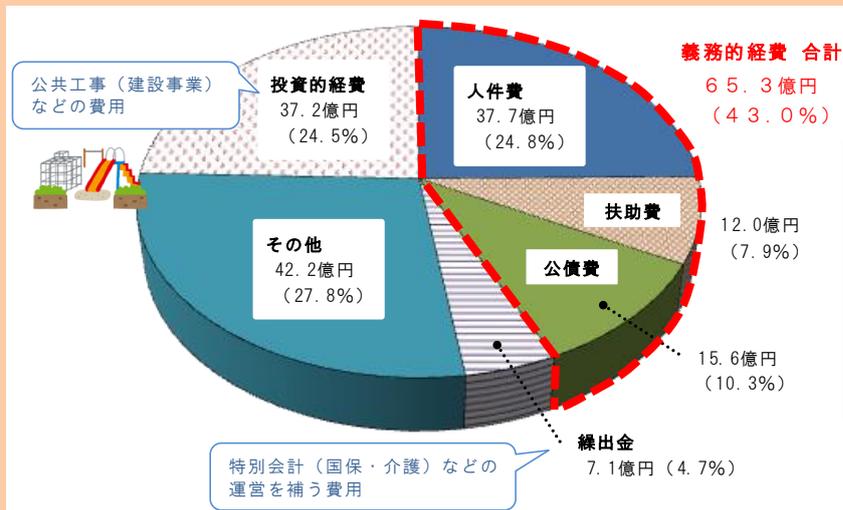
昔は・・・
（平成6年度）

- 11,375人（21.0%）
- 5千～1万円／月
3歳未満
- 未就学児の入院・通院医療費を助成
- 666人 4,847万円
- 241世帯 4億3,140万円

今は・・・
（平成25年度）

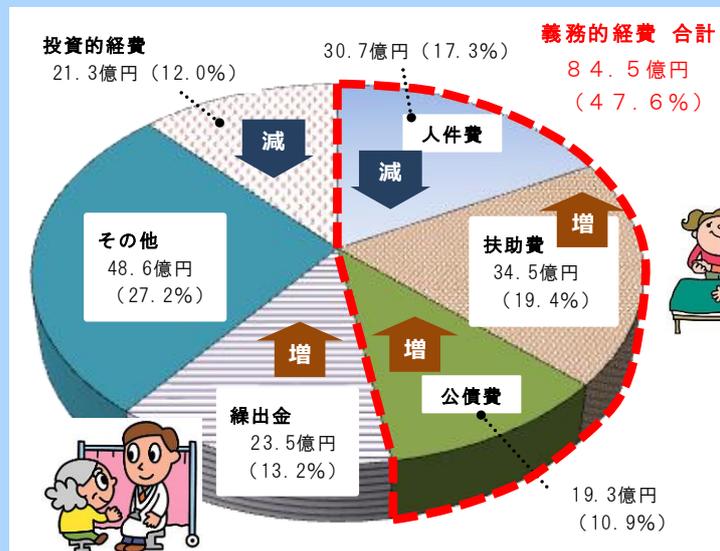
- 16,873人（34.5%）
- 5千～1万5千円／月
中学生まで
- 小3までの入院・通院、中学生までの入院医療費を助成
- 1,312人 1億2,071万円
- 565世帯 11億7,242万円

▼ 20年前の支出内訳（平成6年度決算）



扶助費の支出状況を20年前と比較してみました。
福祉・子育て支援など様々な施策が拡充されてきたことがわかります。扶助費の増は、直接的な行政サービスの向上につながっています。

▼ 現在の支出内訳（平成25年度決算）



昔は上下水道や道路ネットワークなど、生活インフラ整備が十分ではなかったため、公共工事の支出が多かったのですが、現在は「福祉・医療・子育てなどソフト事業の支出へシフトしている」と言えます。

5 決算を家計に例えてみました

たてやま家 1ヶ月の家計簿

一般会計決算を家族の総収入
300万円（※1ヶ月25万円）
の家計に例えて説明します。



《 収入 》

給与 11.5万円

〔 世帯主 給与 8.1万円
（市税収入）
パート 収入 3.4万円
（使用料など） 〕

貯金の取崩し ー 万円
（基金繰入金）

親からの援助 10.9万円
（地方交付税・国県支出金など）

銀行からの借入 2.6万円

（ 合 計 ） 25.0万円

《 支出 》

食費（人件費） 4.1万円

医療・介護費（扶助費） 4.6万円

ローンの返済（公債費） 2.6万円

光熱水費・消耗品購入 3.2万円
（物件費）

地区会費やサークル活動費 2.3万円
（補助費）

家のリフォーム費用 2.8万円
（投資的経費）

子どもへの仕送り（繰出金） 3.1万円

貯蓄や知人への貸付など 0.9万円

（ 合 計 ） 23.6万円

● 1年を振り返り・・・

毎年増え続ける医療・介護費用（扶助費）を捻出するため、支出側では、食費・光熱水費の節約を行い、収入側では、新たなパート（粗大ごみ手数料の徴収等）を行うことにより、貯金を取り崩すことなく、1年間を過ごせました。

しかし、収入の約4割が親の援助に頼っており、不安定な家計状況とも言えます。

1年間のやり繰りで、毎月1.4万円の剰余金（※）を出すことができました。

※ 実額で10億4,025万円



6 決算を他団体と比較してみました

? 他市と決算規模額を比べると、
多いの？ 少ないの？

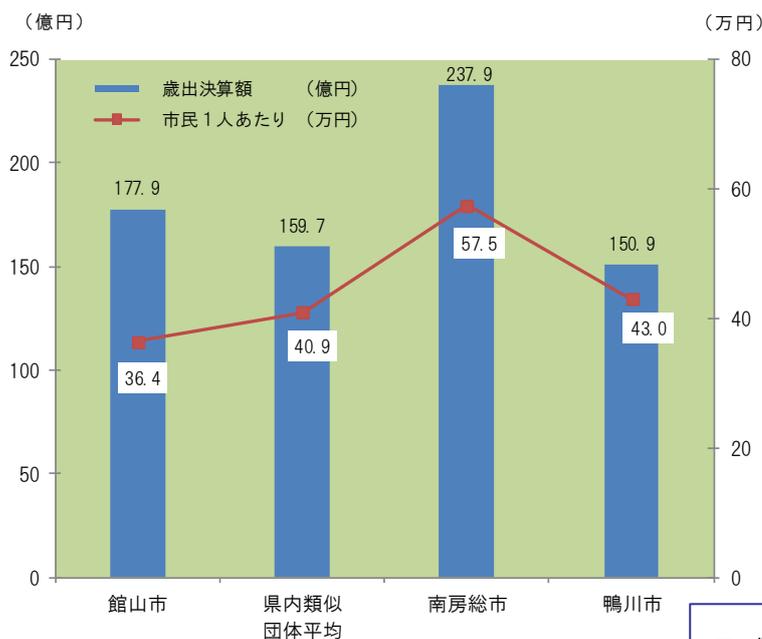
Ⓐ 予算・決算規模は、おおよそ人口に比例します。
そのため、他市の状況との比較を行う場合には、人口規模が同程度の団体（※類似団体：下記解説参照）と比較する必要があります。



人口により、税収の増減がある一方、行政サービス費用（ごみ処理・子育て関連経費など）も増減します。

▼ 歳出決算額及び

市民1人あたりに使われた決算額（歳出）の比較



用語解説

▼ 類似団体

国の統計区分で、市町村を人口規模や産業構造により細分化して分類したもの。館山市と同じ分類は、県内で勝浦・鴨川・富津・富里・南房総・いすみ・匝瑳の7団体です。

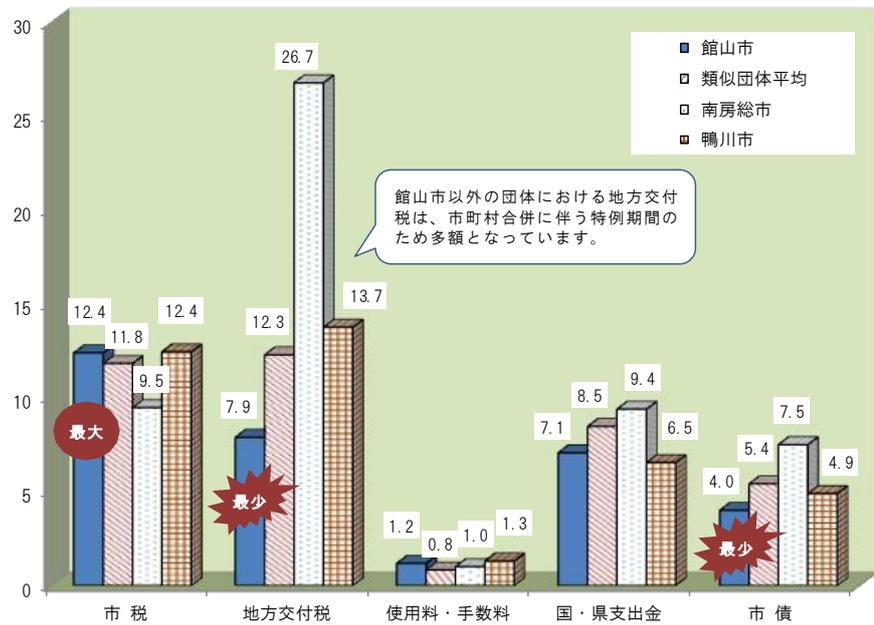
館山市は、市民1人あたりに使われた決算額が少なくなっています。
なぜでしょうか！？
次頁で分析してみました。



同一条件のもと（決算額÷人口）、決算内容を他団体と比較してみました。

▼ 市民1人当たりの歳入決算額の比較

（単位：万円）



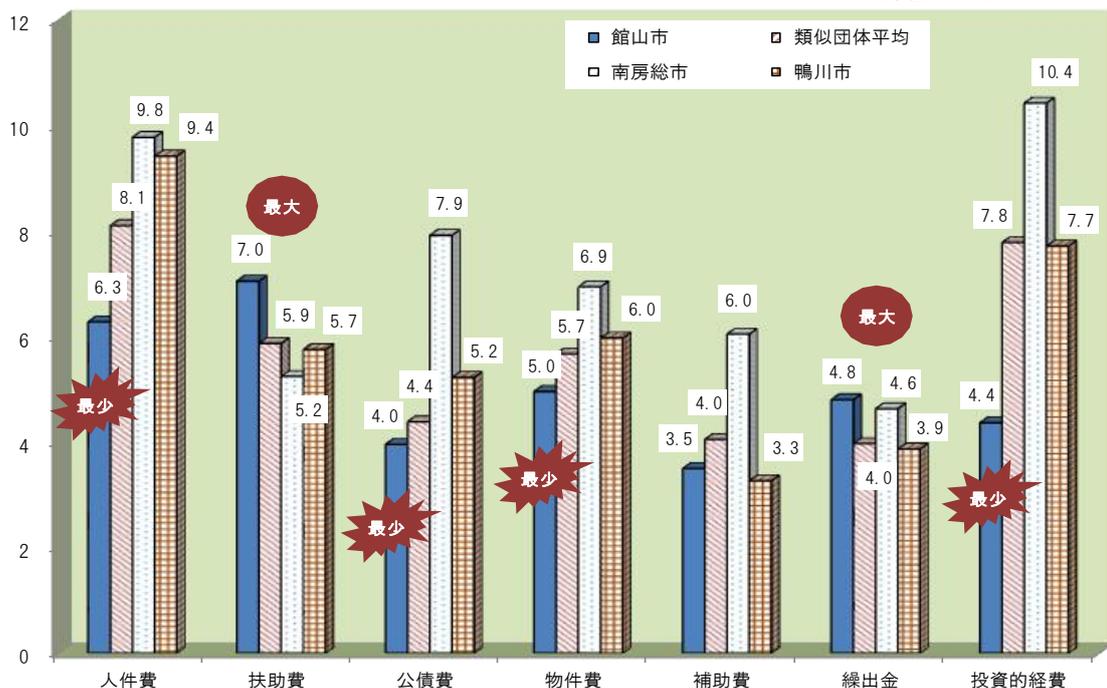
解説

他団体との比較においてわかる、3つのポイント！

- ① 地方の中核都市として、市税収入は多いが、国からの地方交付税は最少額
- ② 借金（市債）を少なく、公共事業（投資的経費）は抑制基調
- ③ 扶助費・繰出金などの社会保障関係へ手厚く支出する一方、人件費や物件費を抑制

▼ 市民1人当たりに使われた歳出決算額の比較（性質別）

（単位：万円）

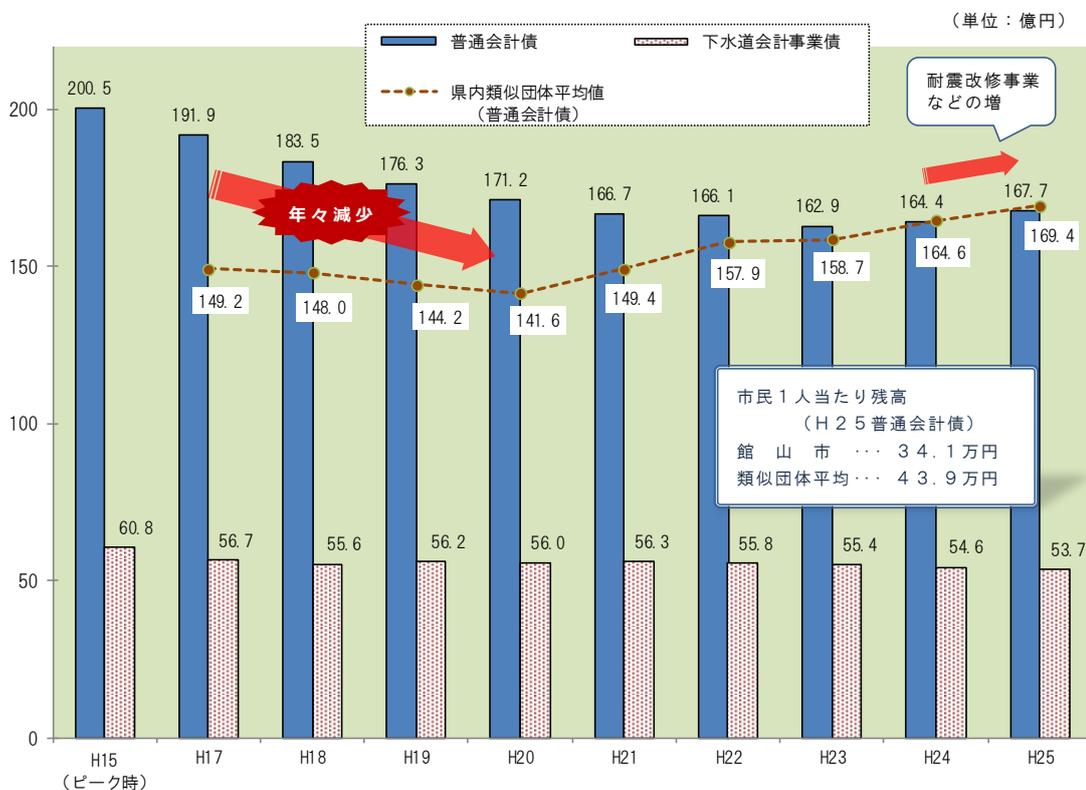


7 市の借金（市債残高）と貯金（基金残高）

借貯
金金

? 市の借金は、どの程度あるのか？

▼ 市債残高の推移及び県内類似団体との比較



知ってほしい 4つのポイント！！

- ① 残高はピーク時（H15）から、約33億円（▲16%）の減少
- ② 東日本大震災後の公共施設耐震改修事業（学校等）の推進などにより、H24～再び増加中（※国による財政支援がある市債のため、将来の市民負担が少ないものです）
- ③ 市民1人あたりの残高は、県内類似団体平均よりも少ない！
- ④ 市債残高などを基準に算定される、『財政健全化判断比率（※）』は、国の規準を大幅にクリアしています。

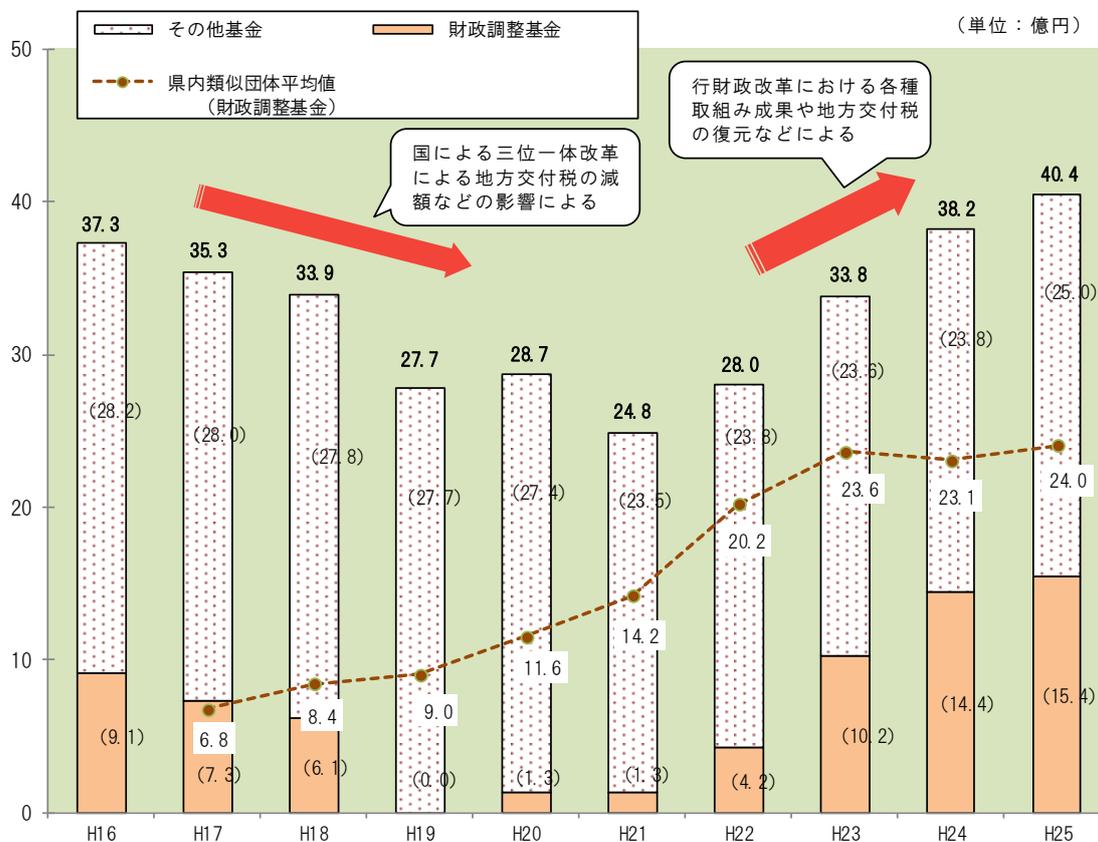
※ 財政運営の健全化を表す指標

詳しくは、21ページ参照



市の貯金は、どの程度あるのか？

▼ 基金残高の推移及び県内類似団体との比較



知りたい 3つのポイント！！

① 基金（貯金）の種類

▼ 特定目的基金

⇒ 特定の目的のため積立を行うもの

(例：庁舎建設基金、スポーツ振興基金など)

▼ 財政調整基金

⇒ 急激な税収ダウンや災害時などの不測の事態に備えるもので、「自治体財政運営のかなめ」と言えます。

② 財政調整基金は、行財政改革による効果などで、約15億円台まで回復！！

③ 市民1人あたりの残高は、県内類似団体平均よりもまだ少ない状況…

市民1人当たり残高
(H25 財政調整基金)

館山市	3.1万円
類似団体平均	6.4万円



8 各種財政指標について

財政指標



市の財政状況を表す指標は、
どんなものがあるの？

- Ⓐ 各種財政指標は、自治体の財政状況を判断する目安となります。様々な指標がありますが、主なものをご紹介します。

財政力指数

自治体の財政力を示す数値です。数値の高い方が財政力の強い自治体であり、1.0 を超える自治体は、市税など標準的な収入で標準的な行政サービス経費を全て賄える（＝地方交付税が不交付）団体です。

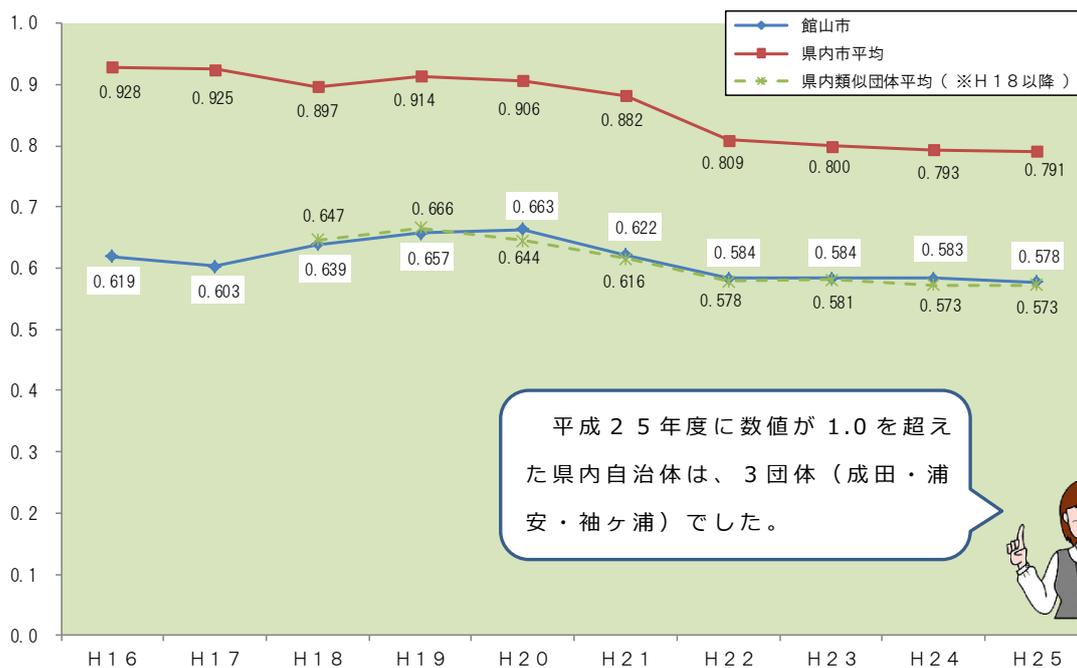
（算定式 ＝ 基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額）

（館山市 H24 数値：0.578 ＝ 48 億 2,267 万円 ÷ 83 億 5,048 万円）

※ 基準財政収入額 …… 自治体が自由に使うことのできる収入（一般財源）のことです。市税収入や地方交付税譲与税などの合算額です。

※ 基準財政需要額 …… 標準的な行政活動を行うために必要な経費の金額です。人口や面積、道路や公園、公共施設数などにより、「国の基準で算定した館山市の最低限必要な経費」と言えます。

▼ 財政力指数（単年度）の推移



経常収支比率

自治体の財政構造の弾力性（＝自治体が自由に使えるお金が多くあること）を示す指標で、自由に使える経常的な財源（市税などの一般財源）が、経常的に支出される経費（人件費・扶助費・公債費など）にどれだけ充てられたかを表します。

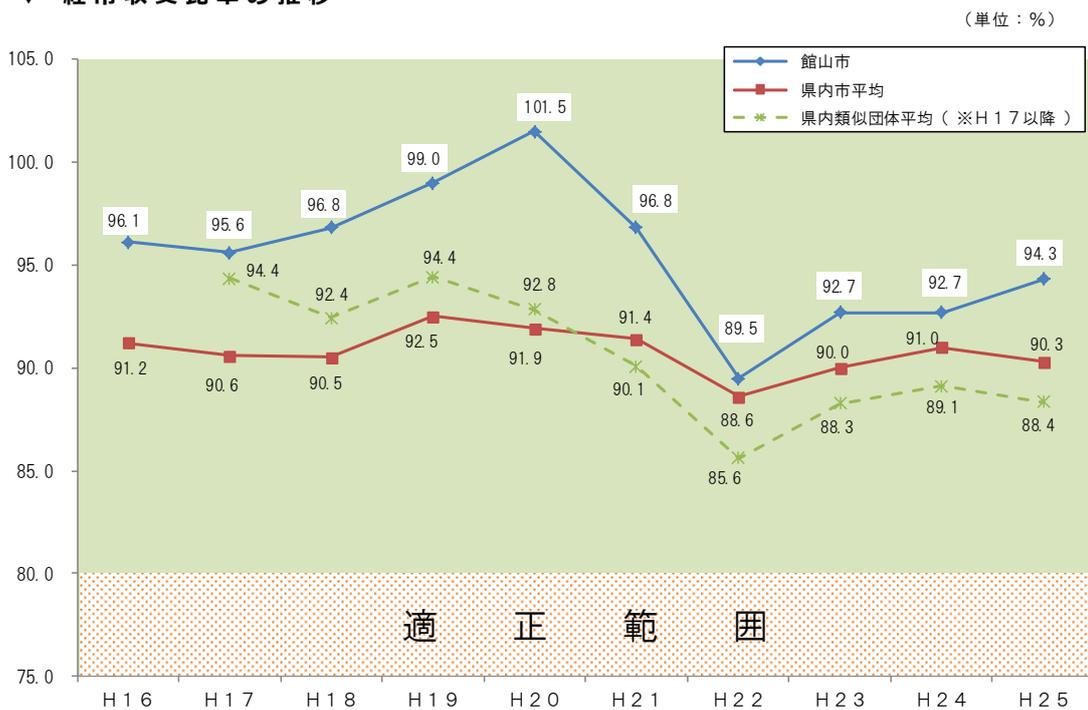
家計に例えると、食費・医療費・ローン返済費用など固定経費の支払が、毎月の給料に占める割合であり、数値が高いほど、家計（＝財政）のやり繰りが苦しいということになります。

（算定式＝経常経費一般財源 ÷ 経常一般財源）

（館山市 H25 数値：94.3%＝103億5,844万円 ÷ 109億8,374万円）

※ 「望ましいとされている比率は70～80%」と言われています。

▼ 経常収支比率の推移



経常収支比率は、扶助費などの経常的な支出増加により、平成17年以降年々上昇し、平成20年度には100%を超えました。

その後、行財政改革による取組み（人件費削減・各事業の見直しなど）や地方交付税の増加などにより、比率は下がりましたが、近年、扶助費や繰出金の増加などにより、再び上昇傾向となり、県内他団体と比較しても高い数値となっています。



財政健全化判断比率

平成19年に自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「自治体財政健全化法」が成立し、財政の健全化を判断する4つの指標の公表が義務付けされました。

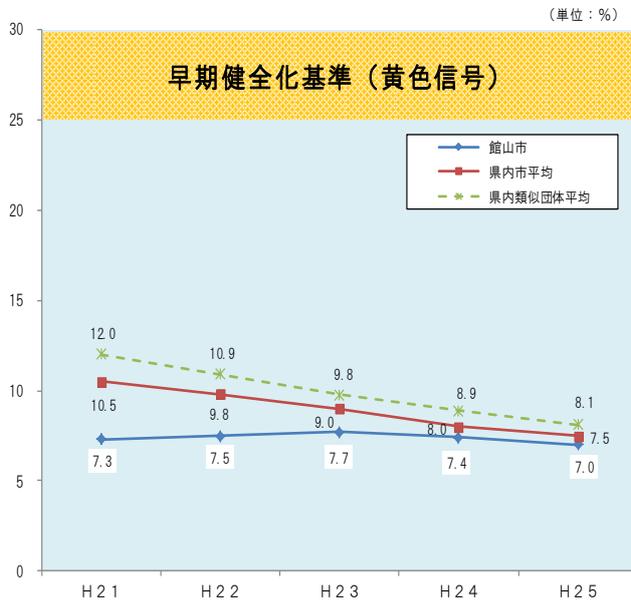
各指標には、国の定める基準があり、基準値を超える団体は財政健全化計画などを作成し、その計画に沿った運営を行うことになります。

(単位：%)

4つの指標	市数値 (H25)	国の定める基準		説明
		早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)	
実質赤字比率	—	13.22	20.0	普通会計の赤字の程度を表す指標
連結実質赤字比率	—	18.22	30.0	すべての会計を合算した市全体の赤字の程度を表す指標 (市全体の財政運営の深刻度を示す)
実質公債費比率	7.0	25.0	35.0	借入金の返済額などが財政に及ぼす負担を表す指標 (資金繰りの危険度を示す)
将来負担比率	67.3	350.0	—	借入金残高や将来支払いの可能性のある負担などを、現時点で表す指標 (将来の財政運営の危険度を示す)

※ 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、赤字額がない(黒字)のため「—」で表示しています。

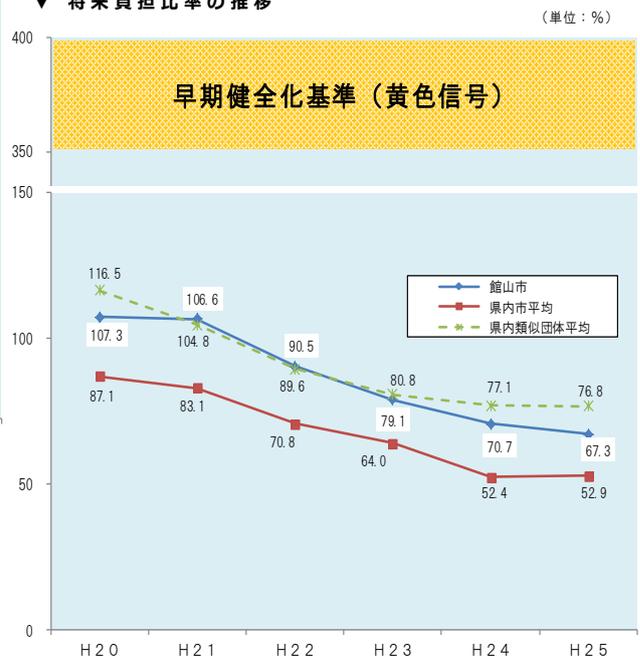
▼ 実質公債費比率の推移



いずれの指標も、国の定めた基準を大幅に下回っており、県内平均値とほぼ同水準となっております。



▼ 将来負担比率の推移



財政状況を、体の健康状態に例えてみましょう！！

定期健診の結果

3つのポイントで解説します。



チェックポイント	H25年度	判定	目標値
----------	-------	----	-----

ポイント ① ～ 借金（市債）残高は妥当なものか？～

▼ 毎年の借金返済額が、多くなっていないか？

実質公債費比率	7.0%	A	10.0%以下 ※ 国の基準 25.0%
---------	------	---	----------------------

▼ 将来の子どもたちへの負担が多くなっていないか？

将来負担比率	67.3%	A	100.0%以下 ※ 国の基準 350.0%
--------	-------	---	------------------------

ポイント ② ～ 貯金（基金）残高は妥当なものか？～

▼ 将来に備えた貯金をしているか？

財政調整基金残高	15.4億円	B	20億円以上 ※ 県内平均値（対標準財政規模）
----------	--------	---	----------------------------

ポイント ③ ～ 財政運営の「ゆとり」は、あるのか？～

▼ 財政に「ゆとり」がどれだけあるのか？

実質赤字比率	- ※赤字無し	A	発生させない
連結実質赤字比率	- ※赤字無し	A	発生させない
経常収支比率	94.3%	C	90.3%以下 ※ 県内 市平均値

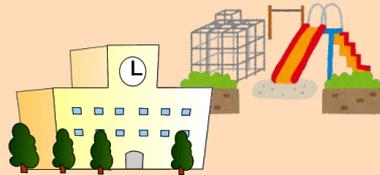
- A 正常 健康です
- B 注意 健康ですが、生活に注意が必要です
- C 要経過観察 治療が必要な状況ではありませんが、生活改善などの努力が必要です
- D 要治療 1日も早く受診し、医師の適切な治療が必要です
- E 要入院 速やかに入院し、一定の改善が見られるまで生活上の制約が必要です

9 行財政改革の取組みについて

行財政
改革

❓ 行財政改革とは？なぜ取組みが必要なの？

将来の心配事・・・



公共施設の老朽化



更なる少子高齢化による
福祉・医療費の増加



税収の
伸び悩み



「ゆとり」のない財政運営
※経常収支比率の高止まり
(20頁参照)

これから増加する費用や、
新たな市民サービスの向上を図るためには・・・



市民協働（行政が実施すること、
市民・NPO団体などに実施し
てもらうことの明確化）



生活習慣病の予防、病気の
早期発見・治療など健康
寿命を延ばす施策により、
医療・介護費を削減
します



行政サービスの
見直しが必要！



行政サービスを受
ける人に応分の負
担を求めます



公共施設の統廃合・
民間委託の推進



これまでの取組み内容と結果は？

「行財政改革方針」における取組み（平成 21～25 年：合計効果額）

《 歳入増加額 5カ年合計：5億7,799万円 》

- ・ 市税の徴収対策強化による税収確保 1億3,490万円
- ・ ふるさと納税制度の新規項目設定による寄附額増
（コミュニティ医療事業・小谷家住宅保存活用事業） 1億3,378万円
- ・ 市有財産の売却（未利用土地・建物など） 1億1,665万円
- ・ し尿処理手数料の改定 9,314万円
- ・ 公共施設使用料改定（市民運動場・公民館など） 2,060万円
- ・ 新規手数料の徴収（赤山地下壕跡観覧料・粗大ごみ手数料） 1,022万円
- ・ 有料広告制度の導入（広報誌・市HPなど） 596万円

使用料改定など、市民の皆さまのご協力が、
歳入増加に繋がっています。



《 歳出削減額 5カ年合計：10億7,779万円 》

- ・ 職員給与の削減（特別職・一般職） 4億100万円
（H22～24年度：特別職10%、一般職3～5%削減）
- ・ 職員数の削減（H20：414人→H25：398人16人減） 3億9,745万円
- ・ 各種施設等の運営方法見直しによるもの 8,220万円
（生活排水処理施設・老人福祉センター・温水プールなど）
- ・ 各種補助事業の見直しによるもの 3,000万円
（短期人間ドック・生ごみ処理機購入補助など）

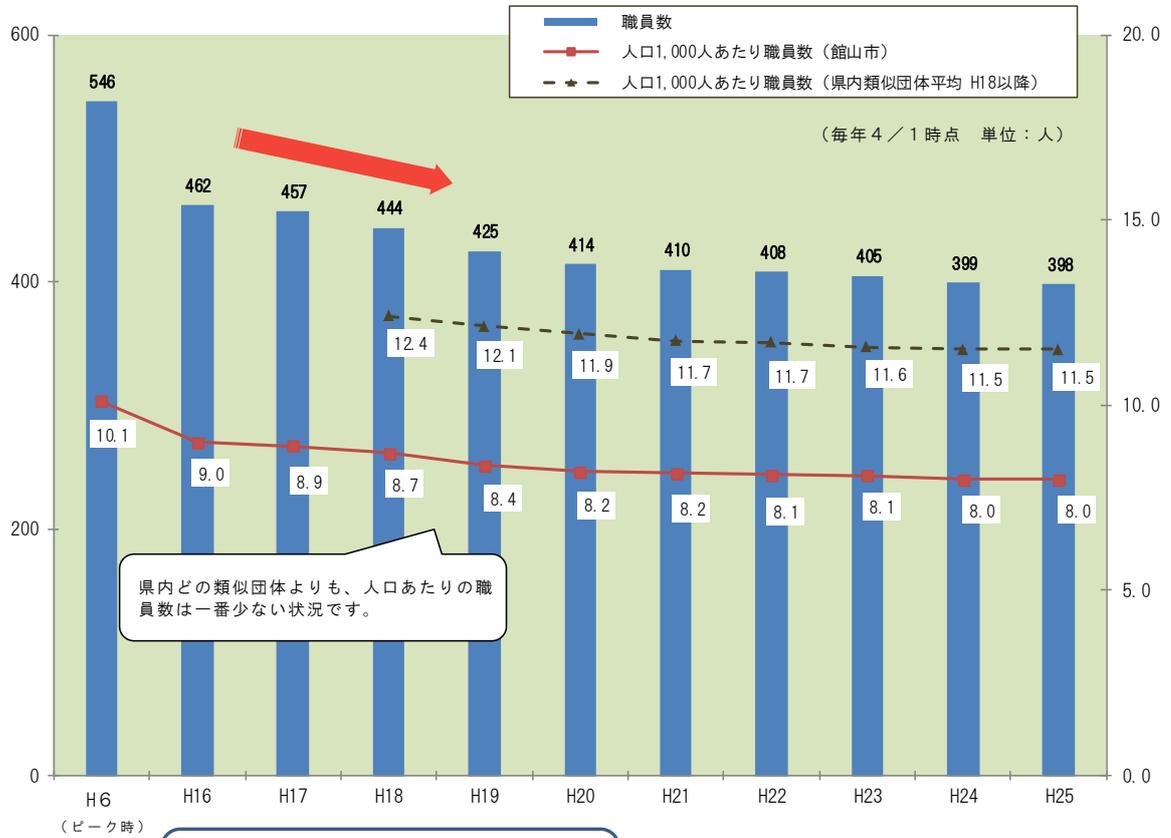
今後も、「各種施設の効率的運用・統廃合・民営化」の検討や更なる
自主財源の確保などについて取り組んでいきます。





人件費の削減が大きいけど、 市職員数はどのくらい減らしてきたの？

▼ 市職員数の推移



どうして職員をこんなに減らしてきたのでしょうか？



知ってほしい 3つのポイント！！

- ① 民間企業で実施可能なことは、
業務委託をお願いします！
（例：ごみ収集の民間委託、施設の指定管理など）
- ② 業務内容に応じて非常勤職員を積極的に
雇用・育成し、マンパワーを確保します。
（例：住民票の発行、施設受付、日々の事務作業など）
- ③ 『最少の経費で最大の効果』を目標に！！
※ 職員数は少なくても、
住みよいまちづくりのため
職員一丸となって努力していきます。



平成25年度 主な事業と決算額

「活力あるふるさと館山」の実現に向けて

事業名称と事業実施の担当部署を記載しています。

- [新規] → H25年度新たな取組み
- [拡充] → H25年度事業内容を拡充

ここからは、市が平成25年度に行った主な事業について、概要・事業費・その事業にかかった財源などを説明します。

「皆さまの身近で行われてきた様々な事業に、どの程度の費用がかかっていたのか」などに着目して、お読みいただければ幸いです。



[新規] ●●●●事業 (△△△課)

事業費		XXX万円	
財源	国	XXX万円	事業内容の説明文書
	県	XXX万円	
	市債	XXX万円	
	他	XXX万円	
	市	XXX万円	

事業実施にあたり、どんなお金をもと（財源）にして、事業を行うかを表しています。

- 国 → 国が負担する金額
- 県 → 県が負担する金額
- 市債 → 市の借金によるもの
- 他 → 利用者などの負担によるもの
- 市 → 市が負担（市民の皆さまの税金などの一般財源）

『健康で安心して暮らすことのできる

まちづくり』のため



消 防 ・
防 災 編

防災ラジオ配布事業

(社会安全課)

事業費 315万円

財 源	国	
	県	16万円
	市債	
	他	
	市	299万円

津波危険区域内の災害時要援護者などへ、屋内外で防災行政無線が受信できる防災ラジオの無償配布を行い、また希望する市民向けに有償配布を行いました。

配布台数 347台



[拡充] 防災行政無線整備事業

(社会安全課)

事業費 6,820万円

財 源	国	
	県	
	市債	6,300万円
	他	
	市	520万円

デジタル防災行政無線の新設(5基)改修(10基)や既存防災行政無線の保守・修繕工事を行い、災害時における情報連絡体制及び救援体制の確保を図りました。

設置基数 130基

(平成25年度末)

※ 事業費には、平成26年度支出済含む



[新規] 防災看板・標識等整備事業

(社会安全課)

事業費 151万円

財 源	国	
	県	150万円
	市債	
	他	
	市	1万円

津波避難対策として、避難指定場所を示す看板や避難経路を表す路面シートを新たに整備しました。

- ・ 避難場所看板設置 5カ所
- ・ 避難経路路面シート 200カ所

避難場所



自主防災促進事業 (社会安全課)

事業費 466万円

財源	国	
	県	10万円
	市債	
	他	36万円
	市	420万円

自主防災組織が行う、防災機材の購入や非常食の備蓄などに補助を行い、自主防災組織の充実を図りました。

補助対象：上町区 外19件

補助金額

(施設整備) 限度額 100万円

(備品購入) 限度額 20万円



安房都市広域市町村圏事務組合 常備消防費負担金 (社会安全課)

事業費 8億542万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	8億542万円

常備の広域消防体制の整備充実を図るため、安房都市広域市町村圏事務組合が行う消防や救急事業についての館山市負担金を支出しました。



[新規] 消防救急デジタル無線整備事業 (社会安全課)

事業費 1,742万円

財源	国	
	県	257万円
	市債	1,390万円
	他	81万円
	市	14万円

安房都市消防本部・館山消防署の消防救急無線のデジタル化に伴い、消防団が使用するデジタル無線機の整備を図り、消防力の充実・強化を図りました。

- ・ 受令機器 53台
- ・ トランシーバー 21台



[拡充] 消防団施設・機材整備事業 (社会安全課)

事業費 4,194万円

財源	国	709万円
	県	258万円
	市債	3,090万円
	他	
	市	137万円

消防力の充実・強化を図るため、消防団詰所や消防団が使用する各種機材の整備を図りました。

- ・ 詰所新築 (九重地区) 1カ所
- ・ ポンプ自動車購入 1台
- ・ 可搬ポンプ購入 3台





障害者自立支援事業 (社会福祉課)

事業費 7億4,896万円

財源	国	3億6,113万円
	県	1億7,994万円
	市債	
	他	
	市	2億789万円

障害者などへ、適切な介護支援や身体機能・生活能力向上に必要な訓練などを行い、地域生活を営むための支援を行いました。

※ 障害介護給付費
利用者数 実 383人



高齢者福祉団体補助事業 (高齢者福祉課)

事業費 1,266万円

財源	国	
	県	214万円
	市債	
	他	32万円
	市	1,020万円

老人クラブや館山市シルバー人材センターを支援するため、活動費や運営費を補助し、高齢者福祉の向上を図りました。



[新規] 地域密着型サービス施設整備事業 (高齢者福祉課)

事業費 5,751万円

財源	国	
	県	5,751万円
	市債	
	他	
	市	

介護サービスの充実を図るため、市内に整備される地域密着型サービス施設の整備等へ補助を行いました。

施設整備補助 2施設
開設準備支援補助 1施設
消火設備整備補助 3施設



生活保護事業 (社会福祉課)

事業費 11億7,242万円

財源	国	8億8,125万円
	県	4,685万円
	市債	
	他	
	市	2億4,432万円

生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付を行うとともに、生活指導による、自立助長を図りました。

[生活保護適用]
565世帯 704人
(平成26年3月末時点)



安房郡市広域市町村圏事務組合 保健衛生費負担金 (健康課)

事業費 5,117万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	5,117万円

地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合へ救急医療に関する費用を負担し、救急医療体制の確保・充実を図りました。

[主な内容]

病院群輪番制病院運営事業

土曜午後・日曜休日昼間・毎夜間の病院運営事業を実施



[拡充] 地域医療体制推進事業 (健康課)

事業費 1億6,940万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	9,572万円
	市	7,368万円

地域医療に資する各種施策を実施し、地域医療体制の充実・強化を図りました。

[主な内容]

安房医療福祉専門学校

- 1 安房地域医療センターが行う、二次救急医療の運営費補助
- 2 安房医療福祉専門学校建設に対する建設費補助



[拡充] 健康診査・予防接種事業 (健康課)

事業費 1億3,765万円

財源	国	115万円
	県	165万円
	市債	
	他	758万円
	市	1億2,727万円

乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種やがん検診などを実施しました。

[主な内容]

- ・ 高齢者インフルエンザ
 - ・ 四種混合 ・ 日本脳炎
 - ・ 各種がん検診 など
- (拡充) 成人風しん予防接種助成



病児・病後児保育事業 (こども課)

事業費 805万円

財源	国	
	県	537万円
	市債	
	他	100万円
	市	168万円

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に、一時的に預かり、保護者の子育てと就労等の両立を支援しました。

[受入施設]

亀田病児・病後児保育室 たてやま



元気な広場運営事業

(こども課)

事業費 1,521万円

財源	国	
	県	546万円
	市債	
	他	
	市	975万円

子育て中の親子の交流、子育て講座、育児相談などにより、子育てへの不安解消、児童虐待防止の推進を図ります。

[元気な広場利用者数]
平成25年度
延35,790人



子ども医療費給付金

(こども課)

事業費 8,447万円

財源	国	
	県	4,183万円
	市債	
	他	
	市	4,264万円

子どもの保険診療に係る費用へ助成を行い、児童の健全な育成及び保護者の経済的負担の軽減を図りました。

[保護者負担額]
入院1日300円(中学3年生まで)
通院1回300円(小学3年生まで)
調剤は無料(小学3年生まで)



児童手当給付事業

(こども課)

事業費 6億1,508万円

財源	国	4億3,228万円
	県	9,621万円
	市債	
	他	
	市	8,659万円

中学校修了前までの児童を養育する保護者を対象に手当を支給し、児童の健全な育成や子育てに係る経済的負担を軽減しました。

[児童手当額]
月額 5千円～1万5千円



東日本大震災避難者支援事業

(社会福祉課)

事業費 381万円

財源	国	
	県	348万円
	市債	
	他	33万円
	市	

東日本大震災による市内避難者に対し、各種サービス(民間賃貸住宅借上げによる応急仮設住宅の提供、生活支援情報の提供、相談業務等)を提供し、避難者の生活の安定を図りました。

・ 市内避難世帯数：21世帯





環 境 ・
衛 生 編

水質検査等委託事業 (環境課)

事業費 156万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	156万円

市民の健康を守るとともに快適な生活環境を保全するため、環境汚染物質の調査・測定を実施し監視に努めました。

[主な内容]
地下水水質検査 (市内11カ所)
河川水質検査 (市内4河川)

など



ごみ再資源化事業 (環境課)

事業費 1億2,590万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1億2,590万円

ごみの分別による再資源化を促進し、燃やせるごみの減量化を図ります。

[再資源化対象]
金属類・ガラス類・白色トレイ
プラスチック製容器包装
ペットボトル・古紙類など



住宅太陽光発電システム設置費補助金 (環境課)

事業費 191万円

財 源	国	
	県	174万円
	市債	
	他	
	市	17万円

地球温暖化対策を促進するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付しました。

補助対象：設置者（個人）
補助金額：1kw当たり2万円
上限8万円
補助件数：26件



安房都市広域市町村圏事務組合 ごみ処理広域化推進費負担金 (環境課)

事業費 2,745万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	2,745万円

安房都市広域市町村圏事務組合が推進している、ごみ処理広域化事業の負担金を支出し、事業の推進を図りました。

[ごみ処理広域化事業]
ごみ焼却施設の老朽化により、中間処理（ごみ焼却等）施設及び最終処分場の整備を行う事業





土木・
交通編

[拡充] 道路新設改良事業

(建設課)

事業費 3億1,785万円

財源	国	7,792万円
	県	
	市債	2億 540万円
	他	
	市	3,453万円

生活環境及び道路機能の向上を図るため、市道の改良などに伴う測量・調査・設計や改良・排水・舗装の整備を行いました。

[主な内容]

道路改良工事 3路線
道路排水整備工事 17路線
道路舗装補修工事 20路線



橋梁整備事業

(建設課)

事業費 753万円

財源	国	414万円
	県	
	市債	300万円
	他	
	市	39万円

安全・円滑な交通機能確保のため、今後の橋梁補修工事に係る設計業務などを行いました。

館山大橋 橋梁補修工事

- ・平成25年度 補修設計
- ・平成26～27年度 補修工事



船形館山線道路整備事業

(都市計画課)

事業費 3,734万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	3,734万円

道路ネットワークの整備や観光振興を図ることを目的とした、(仮称)船形バイパス整備にかかる測量・設計業務を行いました。

- ※ 船形バイパス
富浦IC付近～鏡ヶ浦通り
へのアクセスルート
平成26年度～用地取得



船形芝2号排水路整備事業

(都市計画課)

事業費 336万円

財源	国	
	県	
	市債	250万円
	他	
	市	86万円

大雨時の溢水による被害解消のため、排水路の改良工事を行うための、設計業務を行いました。

[工事概要]

- ・船形地区
- 平成25年度 設計業務
- 平成26年度 改修工事





学校教育編

[新規] いじめ相談室設置事業 (学校教育課)

事業費 180万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	180万円

「いじめ相談室」に「いじめ問題アドバイザー」を配置し、小中学校のいじめに関する電話・訪問相談に対応し、早期発見・早期解決を図りました。

[いじめ相談室概要]
場所：コミュニティセンター
対応日：月～金（10:00～18:00）



[新規] 児童生徒心理検査事業 (学校教育課)

事業費 139万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	139万円

児童生徒を対象とした心理テストを実施し、いじめ被害を受けている児童生徒の早期発見、学級状態の現状把握及び問題点の改善を図りました。

[実施対象]
小学校（4～6年生）
中学校（全学年）



[新規] 電子黒板活用事業 (教育総務課)

事業費 1,905万円

財源	国	
	県	788万円
	市債	
	他	667万円
	市	450万円

児童の学力向上を図るため、各小中学校へ電子黒板を配備するとともに、ICT支援員を配置し、操作指導や授業支援を行い、電子黒板の効果的な利活用を図りました。

配備台数28台・支援員2名



学校施設（幼稚園・小学校）耐震改修事業 (教育総務課)

事業費 8億1,686万円

財源	国	1億9,655万円
	県	
	市債	4億5,440万円
	他	
	市	1億6,591万円

園児・児童の安全対策のため、学校施設の耐震診断、耐震改修設計及び改修工事を実施しました。

西岬小学校

[工事箇所]
北条小・西岬小・
館野小（幼稚園含む）





社会教育・
スポーツ編

博物館（館山城）補修事業（博物館）

事業費 1,869万円

財源	国	1,594万円
	県	
	市債	
	他	127万円
	市	148万円

強風により損傷した館山城の屋根や鯨の修復及び老朽化に伴う外壁補修工事を行い、施設の適正な維持管理を図りました。



館山若潮マラソン大会事業（スポーツ課）

事業費 3,927万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	3,927万円
	市	

「第34回館山若潮マラソン大会」を開催し、市民の健康・体づくりやスポーツ観光による地域経済活性化を図りました。

開催日：
平成26年1月26日
申込者：11,485人



『 経済活性化によるまちづくり 』 のため



農 水
産 業 編

地域おこし協力隊事業 (農水産課)

事業費 1,201万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,201万円

地域活性化のため、都市部など地域外の人材を活用し、農業部門などの地域活動に従事することにより、地域力の維持・強化を図りました。

平成25年度委嘱3名(継続)



[拡充] 有害鳥獣対策事業 (農水産課)

事業費 1,628万円

財 源	国	
	県	1,311万円
	市債	
	他	
	市	317万円

鳥獣による農作物の被害を抑えるため、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置について支援するとともに、広範囲(集落単位)での被害対策計画の策定を行いました。

[主な内容]

- ・ イノシシ捕獲 73頭
- ・ わな免許取得の費用支援 8人



[新規] 食のまちづくり推進事業 (農水産課)

事業費 645万円

財 源	国	645万円
	県	
	市債	
	他	
	市	

公設卸売市場用地(跡地:稲地区)を核とする、地域農産物の流通拠点整備の検討や食のまちづくり計画の策定を行いました。



〔新規〕 耕作放棄地対策事業

(農業委員会・農水産課)

事業費 1,630万円

財源	国	
	県	1,630万円
	市債	
	他	
	市	

耕作放棄地の発生防止及び解消のため、今後の農業経営意向調査の実施や耕作放棄地の再生活用を促進するため、農作物の実証栽培のモデル事業を行いました。



- ・ 実証栽培 1ha

稚貝放流事業補助金

(農水産課)

事業費 295万円

財源	国	
	県	75万円
	市債	
	他	
	市	220万円

市内5漁業協同組合が実施する磯根資源(さざえ・あわび)の保護・繁殖のための稚貝放流事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興を図りました。



補助率：事業費の1/2



商工・
観光編

定住・移住促進事業

(商工観光課)

事業費 434万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	434万円

都市部などからの移住希望者に対し、相談業務などの移住支援を行い、定住移住者の増加に努め、地域の活性化を図りました。

- ・ 移住者実績：58人
(26世帯)
- ・ 相談件数：327件



中小企業融資事業 (商工観光課)

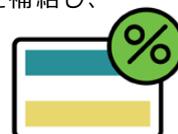
事業費 6,872万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	5,700万円
	市	1,172万円

館山市中小企業融資などの借入れを行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給し、中小企業の振興を図りました。

[平成25年度 主な実績]

- ・ 中小企業融資利子補給金 138件
- ・ 中小企業融資保証料補給金 133件



観光振興事業 (商工観光課)

事業費 2,234万円

財源	国	
	県	100万円
	市債	
	他	1,100万円
	市	1,034万円

観光客の受入体制強化、着地型旅行などの推進のため、民間団体などが行う観光振興に資する事業を支援を行いました。

[主な内容]

- ・ 館山市観光協会への補助 1,100万円
- ・ 館山市体験交流協会への補助 250万円 外



観光施設整備事業 (商工観光課)

事業費 3,323万円

財源	国	1,262万円
	県	444万円
	市債	900万円
	他	
	市	717万円

来訪者が快適に観光地めぐりができるように、公衆トイレの整備や観光案内表示の整備を行いました。

波左間公衆WC

- ・ 波左間公衆トイレ建設 2,357万円
- ・ 観光案内看板等設置 966万円 (20カ所)



[新規] 「渚の駅”たてやま」商業施設棟建設事業 (みなとまちづくり課)

事業費 5,097万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	5,097万円

魅力ある海辺のまちづくりのため、「渚の駅”たてやま施設内に、飲食・物販を行う商業施設棟を建設し、観光振興・地域経済の活性化を図ります。

- ・ 平成26年11月開業予定
- ・ 総事業費：約1億4,117万円





雇 用 ・
経 済 対 策 編

起業支援補助金 (商工観光課)

事業費	326万円	
財源	国	
	県	239万円
	市債	
	他	
	市	87万円

市内において起業する個人や法人の中小企業者に対し、事業を起こすために要する経費の一部に補助を行い、市内産業の振興を図りました。

[平成25年度実績]

- ・ 開設経費補助6件(上限50万円)
- ・ 事務所賃借経費補助3件(上限5万円/月)



[新規] 緊急雇用促進助成金 (商工観光課)

事業費	100万円	
財源	国	
	県	100万円
	市債	
	他	
	市	

市内に居住する離職者の雇用促進を図るため、自らの意思によらずに離職した者を6カ月以上常用雇用した中小企業者へ助成を行いました。

[平成25年度実績]

助成対象：市内中小企業者5件
助成額：20万円(雇用者1名当たり)



雇用創出事業 (商工観光課 外8課 合計12事業)

事業費	8,399万円	
財源	国	
	県	8,399万円
	市債	
	他	
	市	

千葉県の雇用対策補助金を活用し、離職を余儀なくされた失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用を行い、就業機会の創出を図りました。

平成25年度
雇用実績：48名



住宅リフォーム補助事業 (都市計画課)

事業費	1,935万円	
財源	国	929万円
	県	
	市債	
	他	
	市	1,006万円

住環境の充実、耐震化の推進及び地域経済活性化を図るためリフォーム補助事業を行いました。

補助額：対象工事費の10%
限度額：20万円
補助件数：152件



『 財政の安定と健全化 』 のため



[新規] ごみ処理手数料の見直し (環境課)

事業費 - 万円

財源	国
	県
	市債
	他
	市

ごみ処理手数料の適正化を図るため、新たに粗大ごみ収集の有料化を行いました。

平成25年4月から
粗大ごみ1品 500円
(歳入増額 442万円)



[新規] 未利用市有地の貸付 (環境課)

事業費 - 万円

財源	国
	県
	市債
	他
	市

未利用の市有地(出野尾地区)において、メガソーラー事業を行う民間企業に貸付を行い、市歳入の増加及び再生可能エネルギーの促進に努めました。

歳入増額 552万円/年
※平成25年度～
21年間契約



未利用市有地の売却 (管財契約課)

事業費 - 万円

財源	国
	県
	市債
	他
	市

利用見込みの無い、市有地を売却することにより、歳入確保を図りました。

北条地区 857㎡(宅地)外10件
(歳入増額 4,718万円)



最後まで読んでいただき

ありがとうございました。

市の決算状況や皆さまからの税金の使われ方、平成25年度において市が実施した主な事業内容などが、わかっていただけましたでしょうか？

市の財政状況を把握するためには、様々な財政指標が数値化される『決算』の内容を知ることが一番だと思います。

市民の皆さまが、市の財政状況に関心を持っていただき、率直な意見を市に寄せていただくことが、行政サービスをより一層効率的・民主的なものに変え、住民福祉（サービス）の向上につながると考えています。

最後に、今回の『館山市の台所事情』で
“分かりにくかったこと” “もっと知りたいこと”
などありましたら、気軽にご意見・ご質問をいただくと、
次回以降の改善に役立ちます。

皆さまからのご意見をお待ちしています。





館山市マスコットキャラクター

© studio crocodile・館山市

本名	ダッペエ
分類	イヌ（雑種）
由来	房総の方言「～だっぺ！」が名前の由来。
口癖	「ワンワン」ではなく「ペェペェ」と吼える。 喋る時は語尾に「っぺ！」がつく。
家系	里見八犬伝の犬「八房（やつふさ）」の親戚の末裔（まつえい）の知り合いの親戚。
性格	おおらかで適当。房州育ちであれば骨が1本足りない。

オフィシャルホームページ⇒<http://dappee.com/>

館山市の家計簿

（平成25年度決算版）

平成26年9月作成

館山市総務部行革財政課

TEL 0470-22-3291

FAX 0470-23-3115

E-Mail gyouzai@city.tateyama.chiba.jp